

1..インストール

操作の場所：

・製品メディアからSetup.exeを実行するとインストールが始まります。

概要：

- ・管理者権限で実行します。
- ・インストールによるWindows再起動は不要です。

#	設定項目	初期値	一般的な設定値	お客様の指定	設定根拠	補足
1	新規インストール					
2	Actiphy ActiveImage Protector を以下のパスにインストールします：	C:\Program Files	(初期値と同じ)			
3	インストールタイプを選択してください					
4	プロダクト キーを使ってライセンスされたコンポーネントをインストールする	●チェック有り	(初期値と同じ)			
5	インストールするコンポーネントを選択してください					
6	ActiveImage Protector					
7	バックアップ エンジンとエージェント	■チェック有り	(初期値と同じ)			
8	イメージ マウント ドライバー	■チェック有り	(初期値と同じ)			
9	トラッキング ドライバー	■チェック有り	(初期値と同じ)			
10	コンソール	■チェック有り	(初期値と同じ)			
11	イメージ エクスプローラー	■チェック有り	(初期値と同じ)			
12	リモート コンソールをインストールする	○チェック無し	(初期値と同じ)			
13	MSI インストーラーを作成する	□チェック無し	(初期値と同じ)			
14	関連製品をインストールする	○チェック無し	(初期値と同じ)			
15	Actiphy HyperBoot	○チェック無し				
16	Actiphy Authentication Service (AAS)	○チェック無し				
17	アップデートパッチの適用					
18	・パッチがリリース (https://www.actiphy.com/ja-jp/download/update/) されていればダウンロードして適用します。					
19	バージョン情報の確認					
20	[ヘルプ] → [バージョン情報]					

2..Eメール通知設定

操作の場所：

・ツールバーから [環境設定] → [Eメール通知設定] [バックアップ設定] を選びます。

概要：

・Eメール通知の設定は、このページで行ってください。

#	設定項目	初期値	一般的な設定値	お客様の指定	設定根拠	補足
1	[環境設定]Eメール通知設定					
2	Eメール設定					
3	送信元	(空白)	例 sender@yahoo.co.jp			
4	受信先	(空白)	例 sender@yahoo.co.jp			
5	件名	ActiveImage Protector	(初期値と同じ)			
6	SMTPサーバーの使用:	<input type="checkbox"/> チェック無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り			
7	SMTPサーバーの名前	(空白)	例 smtp.mail.yahoo.co.jp			
8	SSL/TLSを利用	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)			
9	SMTPポート番号:	25	例 465			
10	アカウント名:	(空白)	例 sender@yahoo.co.jp			
11	パスワード:	(空白)	(パスワード)			
12	タスクサマリを送信する	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
13	日単位	<input checked="" type="radio"/> 21:00	(初期値と同じ)			
14	週単位	<input type="radio"/> 日曜日	(初期値と同じ)			
15		21:00	(初期値と同じ)			
16	月単位	<input type="radio"/> 1日	(初期値と同じ)			
17		21:00	(初期値と同じ)			
18	ライセンス期限が切れる○日前に通知メールを送信する	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
19		7日	(初期値と同じ)			
20	[環境設定]バックアップ設定					
21	全般					
22	アクセス不能のボリュームを無視する	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
23	一つのスケジュールで複数のUSBデバイスを保存先に設定できるようにする	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
24	RDXオプションを有効にする	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
25	変更ブロックトラッキングモード					
26	・トラッキングドライバーモードでは大容量ファイルの一部に変更が生じた場合の増分バックアップ等を高速に動作させることができます。					
27	・CBCモードではバックアップ時以外のバックアップ対象マシンへの負荷を低減可能です。複数のバックアップタスクを作成して運用する場合、2つ目以降はCBCモードで作成する必要があります。					
28	トラッキングドライバーモード	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)			
29	Changed Block Comparison (CBC) モード	<input type="checkbox"/> チェック無し				
30	重複排除					
31	実行前に必要な空き領域が不足している場合:					
32	自動的に代替フォルダーへ切り替える	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)			
33	[通常圧縮]の設定でバックアップを継続する	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)			
34	デフォルトの一時ファイルフォルダー:	c:¥windows¥temp	(初期値と同じ)			
35						
36	[環境設定]HyperBack設定					
37	オプション					
38	操作モード					
39	パラレルバックアップ	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)			
40	シーケンシャルバックアップ	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
41	トラッキング方法					

42		Microsoft Resilient Change Traking(RCT)を使用する	■チェック有り	(初期値と同じ)
43		バックアップ イメージファイル最適化		
44		最適化されたバックアップイメージファイルを作成する	□チェック無し	(初期値と同じ)
45	ポストバックアップ			
46	BootCheck			
47		同時実行タスク数	4(最大：10タスク)	(初期値と同じ)
48	重複排除			
49		実行時に必要な空き領域が不足している場合		
50		自動的に代替フォルダーへ切り替える	□チェック無し	(初期値と同じ)
51		[通常圧縮]の設定でバックアップを継続する	□チェック無し	(初期値と同じ)
52		一時ファイル フォルダ :	c:¥windows¥temp	(初期値と同じ)
53				
54	[環境設定]ハイパーバイザー			
55		ハイパーバイザーを追加		
56		ハイパーバイザータイプを選択してください		
57		VMware ESXi		
58		Microsoft Hyper-V		
59		Citrix Hypervisor		
60		Proxmox VE		
61		Nutanix Acropolis		
62		ホスト名、またはIPアドレス	例 192.168.100.100	
63		ユーザー名	例 ¥¥server¥administrator	
64		パスワード	パスワード	
65		ハイパーバイザーの選択		
66		ハイパーバイザータイプを選択してください		
67		VMware ESXi		
68		Microsoft Hyper-V		
69		仮想マシンの選択	例 Windows Server 2022	
70		追加された新規仮想マシンをバックアップ対象に含める	□チェック無し	(初期値と同じ)
71		バックアップ対象の仮想マシン		(初期値と同じ)

3..バックアップスケジュール

操作の場所：

- ・エージェントベースのバックアップはActiveImage Protector を起動し [バックアップ] → [ボリューム バックアップ] を開きます。
- ・エージェントレスのバックアップはActiveImage Protector を起動し [バックアップ] → [HyperBack] を開きます。

概要：

- ・設定を変更する場合は、スケジュールを「編集」（ノートとペンのアイコン）で開きます。
- ・毎週土曜日ベースバックアップ、日～金曜日増分バックアップの例を設定値としています。

#	設定項目	初期値	一般的な設定値	お客様の指定	設定根拠 補足
1	ボリューム バックアップ				
2	1 対象の選択	(未選択)			
3	ディスクまたはボリュームを選択する	ディスク			
4	対象のハードディスクの選択	(未選択)	ディスク0		
5	2 保存先の指定				
6	タスク名	Backup_日付_時刻	(初期値と同じ)		
7	・タスクの名前を設定します。どのコンピュータ、どのハードディスクがわかるようにできます。				
8	保存先			例 ¥¥server¥share	
9	・USBハードディスク（ローカル）、NAS（ネットワーク）等を指定します。				
10	認証情報	ユーザー		例 ¥¥server¥administrator	
11		パスワード		パスワード	
12	コメント	(空白)	(初期値と同じ)		
13	・バックアップに説明を加えます。				
14	保存先隔離オプション	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)		
15	・バックアップ完了後に、保全のため保存先へアクセスできないようにします。				
16	バックアップ後にドライブレターを解除する	<input checked="" type="radio"/> チェック有り 無効	(初期値と同じ)		
17	バックアップ後に保存先HDDをオフラインにする	<input type="radio"/> チェック無し	(初期値と同じ)		
18	バックアップ後に保存先のリムーバブル USB HDD を取り外す	<input type="radio"/> チェック無し	(初期値と同じ)		
19	バックアップ後に指定したネットワークを無効にする	<input type="radio"/> チェック無し	(初期値と同じ)		
20	ネットワークインターフェースの指定	<input type="radio"/> チェック無し	(初期値と同じ)		
21	選択▼	(未選択)	(初期値と同じ)		
22	Ethernet0				
23	圧縮	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)		
24	・圧縮の方法を選択します。				
25	・処理時間を短くしたい場合は通常圧縮の高速を選びます。				
26	重複排除 レベル 1～3	<input checked="" type="radio"/> チェック有り	(初期値と同じ)		
27		レベル 2 推奨	(初期値と同じ)		
28	通常圧縮	<input type="radio"/> チェック無し	(初期値と同じ)		
29	選択▼	高速	(初期値と同じ)		
30	標準				
31	高速				
32	高圧縮				
33	パスワード保護（イメージファイルパスワード）	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)		
34	・イメージファイルにパスワードを設定します。パスワードを忘れるとバックアップから復元できません。				

35	暗号化(イメージファイル暗号化)	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)
36	選択▼	AES128ビット	(初期値と同じ)
37	RC5		
38	AES128ビット		
39	AES256ビット		

40 3 スケジュール

41 **有効化日時**
 42 ・スケジュールの有効期間を指定します。通常は初期値で期限なしです。

43	(開始)	タスク作成時の10分後	(初期値と同じ)
44	(終了)	タスク作成時の1年と10分後	
45	期限なし	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)

46	タスクタイプ:	スケジュールバックアップ	(初期値と同じ)
47	ワンタイム バックアップ	<input type="checkbox"/> チェック無し	
48	スケジュール バックアップ	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	

49	ベース	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)
50	選択▼	月単位	週単位
51	週単位	日～土曜日	土曜日
52	月単位	1～31、月末	
53	指定日時	日付	
54	指定曜日	1～12 (月)	
55		第一～五、最終 (曜日)	
56	実行時間	タスク作成時の10分後	2:00

57	増分	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)
58	選択▼	週単位	週単位
59	週単位	日～土曜日	月火水木金
60	月単位	1～31、月末	
61	指定曜日	1～12 (月)	
62		第一～五、最終 (曜日)	
63	一定間隔で複数回実行	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	<input type="checkbox"/> チェック無し
64	開始時間		7:00
65	終了時間	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	
66			21:00
67	実行間隔	1時間ごと	
68	一回のみ実行	<input type="checkbox"/> チェック無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り
69		10:00	2:00

70	イベントバックアップ		
71	・コンピュータをシャットダウン、再起動するときに、自動的にバックアップを行います。		
72	・バックアップ中はWindowsの操作はできません。		
73	システムのシャットダウン/再起動	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)
74	選択▼	ベースと増分	
75	ベースと増分		
76	ベースのみ		

77	オプション (スケジュール設定) :		
78	・予定していたバックアップスケジュールの時刻に電源が入っていなかったら、次にWindowsを起動した後に、バックアップが実行されます。		
79	・起動時にWindowsがビジーになる可能性があります。		
80	スキップされたスケジュールタスクを自動的に実行する	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)

81		ベースバックアップがスキップされていた場合、優先して実行する	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)
82	オプション			
83	保有ポリシーを有効にする		<input type="checkbox"/> チェック無し	■チェック有り
84	選択▼		保有対象外となった世代のイ	(初期値と同じ)
85		保有対象外となった世代のイメージ ファイルを全て削除		
86		保有対象外となった世代の増分イメージを削除		
87	保有数		3	4
88		新世代作成前に旧世代を削除する	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)
89	リコンサイル イメージを有効にする		■チェック有り	(初期値と同じ)
90		・何らかの理由で増分イメージの破損、削除、作成に失敗等が発生した場合、前回までの増分イメージを使用して、増分を継続します。		
91		・設定しない場合、次回増分実行時にフルバックアップが実行されます。		
92		削除対象となったイメージファイルを次の日数保持する	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)
93		日		15
94	E メール通知を行う		<input type="checkbox"/> チェック無し	■チェック有り
95	選択▼		タスク失敗時	(初期値と同じ)
96		タスク成功時		
97		タスク失敗時		
98		タスク終了時		
99	HyperBack			
100	1 対象の選択 (未選択)			
101	ハイパーバイザーを追加			
102		ハイパーバイザーを追加		
103		ハイパーバイザータイプを選択してください		
104		VMware ESXi		
105		Microsoft Hyper-V		
106		Citrix Hypervisor		
107		Proxmox VE		
108		Nutanix Acropolis		
109		ホスト名、またはIPアドレス		例 192.168.100.100
110		ユーザー名		例 ¥¥server¥administrator
111		パスワード		パスワード
112		ハイパーバイザーの選択		
113		ハイパーバイザータイプを選択してください		
114		VMware ESXi		
115		Microsoft Hyper-V		
116		仮想マシンの選択		例 Windows Server 2022
117		追加された新規仮想マシンをバックアップ対象に含める	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)
118		バックアップ対象の仮想マシン		(初期値と同じ)
119	2 保存先の指定			
120	タスク名		Backup_日付_時刻	(初期値と同じ)
121		・タスクの名前を設定します。どのコンピュータ、どのハードディスクがわかるようにできます。		
122	保存先			例 ¥¥server¥share
123		・USBハードディスク (ローカル) 、NAS (ネットワーク) 等を指定します。		
124	認証情報	ユーザー		例 ¥¥server¥administrator
125		パスワード		パスワード
126		マルチ仮想マシンイメージファイルを作成する	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)

127	コメント	(空白)	(初期値と同じ)
128	・バックアップに説明を加えます。		
129	保存先隔離オプション	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)
130	・バックアップ完了後に、保全のため保存先へアクセスできないようにします。		
131	バックアップ後にドライブレターを解除する	<input checked="" type="radio"/> チェック有り 無効	(初期値と同じ)
132	バックアップ後に保存先HDDをオフラインにする	<input type="radio"/> チェック無し	(初期値と同じ)
133	バックアップ後に保存先のリムーバブル USB HDD を取り外す	<input type="radio"/> チェック無し	(初期値と同じ)
134	バックアップ後に指定したネットワークを無効にする	<input type="radio"/> チェック無し	(初期値と同じ)
135	ネットワークインターフェースの指定	<input type="radio"/> チェック無し	(初期値と同じ)
136	選択▼	(未選択)	(初期値と同じ)
137	Ethernet0		
138	圧縮	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)
139	・圧縮の方法を選択します。		
140	・処理時間を短くしたい場合は通常圧縮の高速を選びます。		
141	重複排除 レベル 1 ~ 3	<input checked="" type="radio"/> チェック有り	(初期値と同じ)
142		レベル 2 推奨	(初期値と同じ)
143	通常圧縮	<input type="radio"/> チェック無し	(初期値と同じ)
144	選択▼	高速	(初期値と同じ)
145	標準		
146	高速		
147	高圧縮		
148	パスワード保護 (イメージファイルパスワード)	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)
149	・イメージファイルにパスワードを設定します。パスワードを忘れるとバックアップから復元できません。		
150	暗号化 (イメージファイル暗号化)	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)
151	選択▼	AES128ビット	(初期値と同じ)
152	RC5		
153	AES128ビット		
154	AES256ビット		
155	3 スケジュール		
156	有効化日時		
157	・スケジュールの有効期間を指定します。通常は初期値で期限なしです。		
158	(開始)	タスク作成時の10分後	(初期値と同じ)
159	(終了)	タスク作成時の1年と10分後	
160	期限なし	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)
161	タスクタイプ :	スケジュールバックアップ	(初期値と同じ)
162	ワンタイム バックアップ	<input type="radio"/> チェック無し	
163	スケジュール バックアップ	<input checked="" type="radio"/> チェック有り	
164	ベース	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)
165	選択▼	月単位	週単位
166	週単位	日~土曜日	土曜日
167	月単位	1 ~ 3 1、月末	
168	指定日時	日付	
169	指定曜日	1 ~ 1 2 (月)	
170		第一~五、最終 (曜日)	
171	実行時間	タスク作成時の10分後	2:00
172	増分	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)

173	選択▼	週単位	日～土曜日	週単位	(初期値と同じ)
174		月単位	1～31、月末		月火水木金
175		指定曜日	1～12 (月)		
176			第一～五、最終 (曜日)		
177					
178	一定間隔で複数回実行			●チェック有り	○チェック無し
179		開始時間			7:00
180		終了時間		■チェック有り	
181					21:00
182		実行間隔		1時間ごと	
183	一回のみ実行			○チェック無し	●チェック有り
184				10:00	2:00
185	イベントバックアップ				
186	・コンピュータをシャットダウン、再起動するときに、自動的にバックアップを行います。				
187	・バックアップ中はWindowsの操作はできません。				
188	システムのシャットダウン/再起動			<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)
189	選択▼			ベースと増分	
190		ベースと増分			
191		ベースのみ			
192	オプション (スケジュール設定) :				
193	・予定していたバックアップスケジュールの時刻に電源が入っていなかったら、次にWindowsを起動した後に、バックアップが実行されます。				
194	・起動時にWindowsがビジーになる可能性があります。				
195	スキップされたスケジュールタスクを自動的に実行する			<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)
196	ベースバックアップがスキップされていた場合、優先して実行する			<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)
197	オプション				
198	保有ポリシーを有効にする			<input type="checkbox"/> チェック無し	■チェック有り
199	選択▼			保有対象外となった世代のイ	(初期値と同じ)
200		保有対象外となった世代のイメージ ファイルを全て削除			
201		保有対象外となった世代の増分イメージを削除			
202	保有数			3	4
203		新世代作成前に旧世代を削除する		<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)
204	リコンサイル イメージを有効にする			■チェック有り	(初期値と同じ)
205	・何らかの理由で増分イメージの破損、削除、作成に失敗等が発生した場合、前回までの増分イメージを使用して、増分を継続します。				
206	・設定しない場合、次回増分実行時にフルバックアップが実行されます。				
207	削除対象となったイメージファイルを次の日数保持する			<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)
208	日				15
209	E メール通知を行う			<input type="checkbox"/> チェック無し	■チェック有り
210	選択▼			タスク失敗時	(初期値と同じ)
211		タスク成功時			
212		タスク失敗時			
213		タスク終了時			

4..バックアップの高度な設定

操作の場所：

・スケジュールバックアップの [2 保存先の指定] で [高度な設定] リンクを開きます。

概要：

- ・イメージファイルを指定のサイズに分割できます。
- ・バックアップ時のスナップショット実行前後に、スクリプトでDB停止/開始等のコマンドを実行できます。

#	設定項目	初期値	一般的な設定値	お客様の指定	設定根拠	補足
1	バックアップの高度な設定					
2	一般設定					
3	ディスクごとにイメージ ファイルを分割する	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
4	イメージをサイズ指定して分割する	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
5	不良セクターをスキップしてバックアップする	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)			
6	MD5ファイルを作成する (冗長検査)	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
7	アクセス不能のボリュームを無視してバックアップする	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)			
8	ベース (フル) バックアップ時に、プールを消去して上書きする	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
9	ネットワークスロットルを使用する	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
10	ネットワークへの書き込み時にキャッシュを使用する	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
11	バックアップ時にあらかじめ仮想化処理を行う	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
12	バックアップタイムアウト	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
13	時間	12時間				
14	バックアップ終了後にテープをスロットに戻す	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)			
15	バックアップ終了後にテープメディアを取り出す	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
16	イメージ準備					
17	バックアップ時にあらかじめ仮想化処理を行う	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)			
18	バックアップ時にあらかじめクラウド環境向けの仮想化処理を行う	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
19	VSSと変更トラッキング設定					
20	VSS 操作モード：	<input checked="" type="radio"/> コンポーネントモード	(初期値と同じ)			
21	コンポーネント モード					
22	非コンポーネント モード					
23	変更ブロックトラッキング モード：	<input checked="" type="radio"/> トラッキング ドライバー モ	(初期値と同じ)			
24	トラッキング ドライバー モード					
25	Changed Block Comparison (CBC) モード					
26	除外ファイル：					
27	ページファイル	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)			
28	ハイバネーション ファイル	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)			
29						
30	重複排除圧縮					
31	実行前に一時ファイルフォルダーに必要な空き領域が不足している場合：					
32	自動的に代替フォルダーへ切り替える	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)			
33	[通常圧縮]の設定でバックアップを継続する	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)			
34	一時ファイルフォルダー：	c:¥windows¥temp	(初期値と同じ)			
35	スクリプト					
36	スナップショット実行前に実行するスクリプト：					
37	タイムアウト	30分	(初期値と同じ)			
38	実行設定：	ベースと増分	(初期値と同じ)			
39	ベースと増分					

40	ベースのみ		
41	増分のみ		
42	スナップショット実行後に実行するスクリプト：		
43	タイムアウト	30分	(初期値と同じ)
44	実行設定：	ベースと増分	(初期値と同じ)
45	ベースと増分		
46	ベースのみ		
47	増分のみ		
48	イメージファイル作成後に実行するスクリプト：		
49	タイムアウト	30分	(初期値と同じ)
50	実行設定：	ベースと増分	(初期値と同じ)
51	ベースと増分		
52	ベースのみ		
53	増分のみ		
54	バックアップタスクの実行エラー時でも指定したスクリプトを全て実行する	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)

5..レプリケーション

操作の場所：

・スケジュールバックアップの [ポスト バックアップ プロセス] で [レプリケーション] を開きます。

概要：

・ポストバックアップ プロセスは、スケジュールバックアップ後の追加処理を指定します。
 ・レプリケーションは、バックアップしたイメージファイルを別の場所にコピーします。

#	設定項目	初期値	一般的な設定値	お客様の指定	設定根拠	補足
1	レプリケーション					
2	オフサイトレプリケーション行う	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
3	ワーキングエージェント：	このコンピューター	(初期値と同じ)			
4	ターゲット	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り	(初期値と同じ)			
5	プロトコル	ローカルフォルダー	ネットワーク共有フォルダー			
6	選択▼					
7	ローカル フォルダー					
8	ネットワーク共有フォルダー					
9	SFTP					
10	FTP					
11	WebDAV-https					
12	WebDAV-http					
13	Amazon S3					
14	Azure					
15	OneDrive					
16	DropBox					
17	Google Drive					
18	Wasabi					
19	Neutrix Cloud Storage					
20	複製先：	(空白)	例 ¥NAS¥share¥rep¥			
21	サブ フォルダーを作成する	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
22	ポリシー：	対象のイメージファイルすべて	常にレプリケーション元と同じ状態にする			
23	選択▼					
24	対象のイメージファイルすべて					
25	最新の世代のみ					
26	増分イメージ ファイルのみ					
27	最新世代の増分イメージファイルのみ					
28	常にレプリケーション元と同じ状態にする					
29						
30	再試行上限：	5	(初期値と同じ)			
31	スケジュール					
32	即時	<input checked="" type="radio"/> チェック有り	(初期値と同じ)			
33	新しい増分イメージファイルが () 個作成されるたびに実行する	<input type="radio"/> チェック無し				
34	時間指定：	<input type="radio"/> チェック無し				
35	Eメール通知を行う	<input type="checkbox"/> チェック無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り			
36	選択▼	タスク失敗時	(初期値と同じ)			
37	タスク成功時					
38	タスク失敗時					
39	タスク終了時					

40		パフォーマンス		
41		タスクの優先順位 (最低~高)	中	(初期値と同じ)
42		I/Oパフォーマンス (軽負荷~高)	高	(初期値と同じ)
43		ネットワークスロットルを使用する	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)

6..起動環境を使用した復元

操作の場所：

- ・起動環境（Windows PE）からコンピュータを起動して [復元] → [ボリューム復元] を開きます。

概要：

- ・起動環境からバックアップイメージを復元します。
- ・ActiveImage Protector導入時にBoot Environment Builderを利用して起動環境を作成後、起動することをご確認ください。
- ・最新版ダウンロード：<https://www.actiphly.com/ja-jp/download/update/>
- ・技術資料：<https://www.actiphly.com/ja-jp/support/tech-resource/>

#	設定項目	初期値	一般的な設定値	お客様の指定	設定根拠	補足
1	ボリューム復元					
2	1 復元ポイントの選択					
3	バックアップ保存先	(空白)	例 ¥¥server¥share			
4	認証情報	ユーザー	例 ¥¥server¥administrator			
5		パスワード	パスワード			
6	ホスト	(空白)	復元したいバックアップイメージのコンピューター名			
7	復元ポイント	(空白)	復元したいバックアップイメージの日時			
8	2 復元設定					
9	復元するアイテム：	ディスク0	(初期値と同じ)			
10	復元の設定：	ディスク0	(初期値と同じ)			
11	復元中のチェックサムエラーを無視	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
12	タスク終了後の追加処理	<input type="checkbox"/> チェック無し	(初期値と同じ)			
13	選択▼					
14	システムの再起動					
15	システムのシャットダウン					
16	A.I.R. を実行					
17	チェック ディスクを実行					

7..イメージファイルのマウント

操作の場所：

- ・[イメージ管理] → [イメージのマウント] を開きます。

概要：

- ・イメージファイルを使って、一時的にボリュームを開き必要なファイルにアクセスし、ファイルやフォルダの復元等をおこなえます。
- ・マウントされたボリュームに変更を加えると、差分ファイル（.aix）が作成されます。
- ・マウントはWindowsがシャットダウンされると自動的に閉じられます。

#	設定項目	初期値	一般的な設定値	お客様の指定	設定根拠	補足
1	イメージのマウント					
2	バックアップ保存先	(空白)	例 ¥¥server¥share¥xxxxxxxxxxxx.aiv			
3	認証情報	ユーザー	例 ¥¥server¥administrator			
4		パスワード	パスワード			
5	コンピューター	(空白)	復元したいバックアップイメージのコンピューター名			
6	復元ポイント	(空白)	復元したいバックアップイメージの日時			
7	ボリュームの選択	(空白)	●C:			
8	ドライブ文字	例 F:	(初期値と同じ)			
9	・使用されていないドライブレター-の最小の値が規定値です。					
10	マウント済みボリューム	<input type="checkbox"/> チェック無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り			
11	・現在マウントされているボリュームのリストから解除したいものを選びます。					
12	強制的にマウント解除	<input type="checkbox"/> チェック無し	<input checked="" type="checkbox"/> チェック有り			

8..仮想化

操作の場所： ・ツールバーから [仮想化アダプター]を選びます。

概要： ・バックアップ、および物理ディスクを、VMware 製品向け、または Microsoft Hyper-V向けに仮想化（仮想マシン、または仮想ディスク）することができます。

#	設定項目	初期値	一般的な設定値	お客様の指定	設定根拠	補足
1	仮想化アダプター					
2	復元ポイントの選択					
3	バックアップ保存先	(空白)			例 ¥¥server¥share	
4	認証情報				例 ¥¥server¥administrator	
5	ユーザー				パスワード	
6	パスワード					
7	ホストV/M	(空白)			復元したいバックアップイメージのコンピューター名	
8	復元ポイント	(空白)			復元したいバックアップイメージの日時	
9	仮想化復元ポイントの作成					
10	ハイパーバイザータイプ		以下のいずれか1つを選択			
11	EXSi					
12	VMWare Workstation					
13	Hyper-V					
14	AWS					
15	仮想マシン バージョン :					
16	ゲストOS :					
17	SCSI コントローラー :					
18	バージョン :					